



1・2月講座紹介

特別支援教育、総合的な学習(探究)の時間の2講座を紹介します。



申込期間 11月5日(火)～11月21日(木)

527

特別支援教育「ICTを活用した指導・支援」講座
—読み書きの困難に焦点をあてて—

開催日：1月27日(月) 会場：総合教育センター
講師：東京大学先端科学技術研究センター 近藤武夫 准教授

読み書きに困難のある児童生徒への効果的な指導・支援の実際について、実践事例を通して学ぶとともに、通級指導教室での指導を通常の学級につなぐ視点について学びます。

【指標】人権・ステージ3(充実期)

501

総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座
—深い学びを構想する—

開催日：2月6日(木) 会場：総合教育センター
講師：國學院大學 田村学 教授

今、求められている総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間の在り方について理解し、創意工夫あふれる授業の展開を構想します。

【指標】学習指導・ステージ2(中堅期)

連載「研究最前線」 教育相談部③

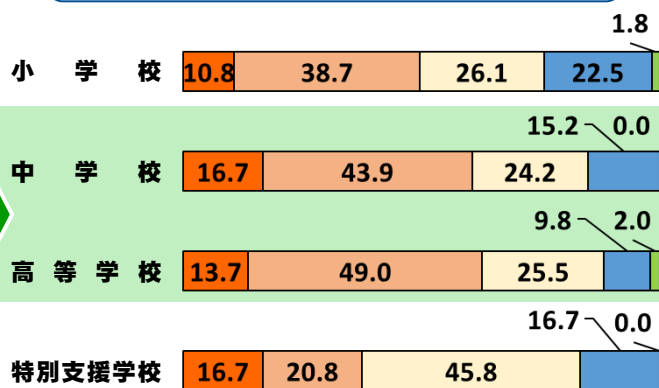
「折れない、しなやかな心」を育むために



「折れない、しなやかな心」を育むために」連載第3回は、児童生徒の“自信のなさ”“失敗を恐れる気持ち”という質問と関係が深いと思われる、他者と自分を比べることや他者からの評価についての2つの項目を見ていきます。

①「失敗を恐れて初めから物事に挑戦しない児童生徒が多いと感じる」

②「他者から何か言われたいか、他者からどう見られているかを気にしている児童生徒が多いと感じる」



■感じる ■どちらかといえば感じる ■どちらともいえない ■どちらかといえば感じない ■感じない (単位：%)

《結果から》

どちらの質問でも「感じる・どちらかといえば感じる」を合わせた回答が、中学校・高等学校で割合が高く、特に②の質問でその傾向が顕著でした。



失敗を恐れて物事に挑戦しないことと、他者からの評価や優劣を気にする態度は、関係があるのかもしれませんが。

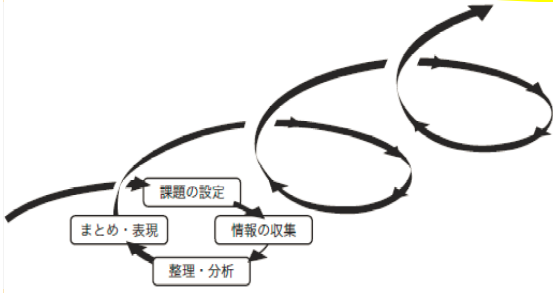
これらのアンケート結果から、今後は「他者からの関わり」と「児童生徒の体験の質」という視点をもって研究を進めます。結果については、今後リーフレットなどでお知らせをします。



学びの直送便

初任者研修 「中学校総合的な学習の時間、キャリア教育」講座 153
 「高等学校総合的な探究の時間、キャリア教育」講座 168

探究的な学習における生徒の学習の姿



文部科学省 「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編」

「総合的な学習の時間・総合的な探究の時間」は、**探究のプロセス（①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現）**を通して、**主体的・協働的に学習をすすめていくことが大切であること、また、「キャリア教育」は、生徒の自己肯定感や自己有用感を高め、自分らしい生き方を促すために行うということ**を学びました。研究協議では、互いに意見を交流し、自身の実践に繋がる学びを得ることができました。

感想

生徒自身が、自分と向き合い一歩を踏み出すきっかけが何かを探し続けるとともに、教師には、生徒の成長を支援するための知識や見識が必要である。人の生き方は様々であり、決心した時がスタートラインであると伝えながら、生徒の成長の糧となる教師になるためにも、日々の指導や生徒との接し方を見直したい。



本講座では「京都府高等学校定時通信制生徒生活体験発表大会」を聴講しました。

特別活動講座 一よりよい学級・学校生活をつくるために 505

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
 国立教育政策研究所 教育課程調査官 安部 恭子



文部科学省の安部恭子教科調査官に新学習指導要領に基づいた特別活動の実践について御講義いただきました。全国各地の実践を例に、育成すべき資質・能力、そのための学級活動における自発的、自治的活動を中心とした特別活動の充実について、目指すべき指導の方向を示していただきました。



福知山市立雀部小学校の市橋良造教諭の実践発表では、異年齢集団活動などを通して、高学年をモデルとした児童の自発的、自治的活動が全校に波及していく様子を伝えていただきました。**成功体験を積み上げ、子どもの自己有用感を高める特別活動の大切さを学びました。**



研修の様子

出前講座で校内研修を豊かに

10月1日現在

講座数

207件

受講者数

5,488人

現在も受付中！

総合教育センターでは学校現場のニーズに応え、充実した研修を支援するための出前講座を実施しています。本年度は、同一講座の実施が年2回までとなったこと、また、新講座（「小学校総合的な学習の時間講座」など）の開設により講座数が26講座に拡充したことで、より幅広い研修が可能になりました。

校内研修における講義・演習や、校内の研究授業に対して、指導案作成の支援を含めた事前研修や事後研修に御活用いただくなど、**ニーズに応じた学び方の工夫を**していただいています。



出前講座の演習の様子

感想

「授業の中に自立活動の視点を取り入れる」というのは大事だと感じました。

生徒たちが自己肯定感をもって卒業できるよう、学校の仕組みを考えていきたいと思います。

（高等学校・特別支援教育講座）

Webコンテンツ視聴研修のお知らせ

教員の多忙化を踏まえ、児童生徒と向き合う時間の確保を考慮して、教職員の負担軽減の観点から、**11月からWebコンテンツを2つ視聴し、レポートを2枚作成し、提出する研修**を実施します。

単位認定の対象となるWebコンテンツ ※B、Cは要個人登録申込

- A 独立行政法人教職員支援機構「NITSのオンライン講座『校内研修シリーズ』」
- B 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所『インターネットによる講義配信』
- C 国立大学法人京都教育大学『先生を“究める”Web講義』

URL http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/cms/?page_id=435

提出期間：11/1（金）～12/25（水）

研修の流れ



※「Webコンテンツ視聴研修レポート」(様式4)は、総合教育センターホームページからダウンロードしてください。

URL <http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/kensyukoza/>